

目次

研究紀要 千葉大学教育学部

平成27年

第63巻

I. 教育科学系

●園での仲間遊びにおける幼児の感情語への言及 —3, 4, 5歳児クラスのデータ分析—	岩田 美保	1
●オームの法則の学習におけるグラフの理解を改善する授業の開 発	勝田 紀仁・山下 修一	7
●学校心理学の創始者Lightner Witmerの生涯についてのノート	大芦 治	13
●芸術教育によるESDの可能性の探究 —音・音楽による感性の開発—	本多佐保美・山本純ノ介	23
●アジア地域における家庭科プロフェッショナル育成プログラ ムの開発	中山 節子・伊藤 葉子・河村 美穂・藤田 智子 西原 直枝	29
●実験を主体とした科学教育のアセアンおよび東アジア展開	野村 純・山野 芳昭・友木屋理美・大罵 竜午 馬場 智子 ヒワティグ エイプリル ダフネ フロレスカ 山田 響子・飯塚 正明・板倉 嘉哉・加藤 徹也 木下 龍・下永田修二・白川 健・杉田 克生 高木 啓・辻 耕治・東崎 健一・中澤 潤 林 英子・ホーン ヘヴァリー・山下 修一 大和 政秀・米田 千恵	35
●発達障害の診断を受けた幼稚園児の行動特徴：3歳から5歳の 変化に関する検討	宮寺 千恵・吉澤 智慧	43
●障害当事者とその親の成長に伴う経験と心情 —先天色覚異常者とその親の語りの質的検討—	富田 久枝・岡田あずさ	51
●養護教諭養成課程学生における一次救命処置の理解度	長島 史佳・杉田 克生・野崎とも子	57
●市町村発行のひとり親家庭向けガイドブックの内容分析	伊藤 葉子・計良 友美	61
●台北市における外国語学習環境 —ひとつのカリキュラムと様々な授業実践—	本田 勝久・神谷 昇・町村 貴子・高橋 広野	71
●学校臨床の視角 —私家版・学校臨床心理学入門—	磯邊 聡	77
●外国語活動を経験した児童の語順に関する理解度調査 —SVOに焦点をあてて—	物井 尚子・矢部やよい・折原 俊一	85
●長さ測定に関する小学校1年生の実態	松尾 七重	95
●不登校経験とその後の生活との関係 —一定時制高校で適応的に過ごしていた事例から—	大塚 朱美・真田 清貴・保坂 亨	105
●医療系大学生の進路選択・大学適応感・アイデンティティ形成 について —文献レビューによる考察—	山田 裕子・宮下 一博	111
●教育現場での体験を取り入れた教員養成カリキュラムに関する 基礎的研究	鈴木 隆司	121
●幼稚園の飼育当番活動における責任と報酬の分配	下山 薫・砂上 史子・松崎 洋子	129
●教員研修留学生の教育専門用語習得に関する一考察	阿部美菜子・植木 節子	137
●学校保健に関する政策論的考察 —保健主事を中心とした学校保健活動に関する政策及びその取 り組み—	谷藤 千香・畑 攻・森 良一 今関 豊一・小野里真弓	147
●身体の臓器に関する知識の発達	久保 瑠子・中澤 潤	153
●多様な言語材を活かした国語科指導の可能性について(2) —これまでの国語科指導における多様な言語材の位置づけ—	森田 真吾	159
●小学校理科「風やゴムの働き」の問題点と改善の方策 —主としてエネルギー・エネルギー問題の視点から考える—	鶴岡 義彦	169
●ドイツにおける学力向上プログラムに関する一考察 —‘SINUS an Grundschulen’を例にして—	高木 啓	175
●科学的思考力の育成に対するアーギュメントを取り入れた授業 の効果	藤田 剛志・高橋 博代・鈴木 啓督・金坂 卓哉 藤澤 隆次・河守 徹	181
●教育相談に対して教師が直面する困難	笠井 孝久	187

● イングランドにおける特別な教育的ニーズのある生徒の中等学校選択制度の特徴 —アプリケーション・フォームに注目して—	内海友加利・真城 知己	199
● 学校の国際化と防災教育 ～市原市A小学校区の実践分析から～	土田 雄一	205
● 小中連続道徳授業の省察 ～市原市A中学校区での実践分析から～	土田 雄一・川添 幹貴・尾高 正浩	213
● 信頼を基盤とする創発学級づくりの提言 —学級におけるリスクの低減と信頼のシンボリズム（信頼への信頼）の獲得—	蘭 千壽・高橋 知己	225
● 授業におけるネットワークの形成と学級組織の自己組織性	蘭 千壽・杉本 成昭	231
● 教師の指導性を重視した理科指導法に関する基礎研究 —小中学校教師対象調査を主な手がかりとして—	井野真奈美・鶴岡 義彦	241

II. 人文・社会科学系

● 『八月の光』における失われた家族像	平出 昌嗣	253
● 第一言語と第二言語における“語彙-概念リンク”の発達 の5	伊敷 美花・杉田 克生・鈴木千絵里・杉田記代子 下山 一郎・折原 俊一・蓑原 真美	261
● ダム建設の意図せざる結果 —養老川水系・高滝ダムをめぐって—	井上 孝夫	269
● 保育園児を持つ母親の仕事と子育ての葛藤	久保 桂子	279
● 中学校英語授業における「言葉を観察する眼」を育てるデータ 駆動型学習の実践 —ペーパー版DDLからタブレット版DDLへの発展—	西垣知佳子・横田 梓・小山 義徳・神谷 昇 中條 清美	287
● 思春期不適応に関する考察 —「時間と近代」の視点から—	花澤 寿	295
● 大学生を対象としたケースメソッド教育の評価 —積極的・消極的参加者を対象としたグループインタビュー調査—	岡田加奈子・三村由香里・竹鼻ゆかり・松枝 睦美 林 照子	303
● ヘルス・プロモーション・スクール評価票を用いた教員検討 会による学校アセスメント —幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校における評価—	岡田加奈子・磯邊 聡・小橋 暁子・砂上 史子 北島 善夫・中澤 潤・宮寺 千恵 ホーン ベヴァリー・小林 英恵・互 光子	311
● 「近未来石油枯渇論」の誤謬と埋蔵量・可採年数・総資源量の 真実 —文明縮小論はなぜ不適切なのか？—	妹尾 裕彦	317
● 千葉県における小学校英語の歴史と変遷	本田 勝久・吉村 博与・有常 洋菜・矢部 睦美 大竹口香織・斉藤 花菜・酒井 航平	333
● 政策教育の基礎カリキュラムについて考える —試論として	磯崎 育男	339
● 元結、白居易における風雅の位相	加藤 敏	408
● 岐路に立つ翻訳児童文学叢書 —一九六〇年代後半の普及と波及—	佐藤 宗子	418

III. 自然科学系

● 技術科教員免許取得対象者に対するC言語の教授に関する研究	飯塚 正明・竹下 裕菜	351
● 逆動作可能なデバイスを用いた電流の向きについての教員養成 の試行	加藤 徹也・西村 浩隆	357
● 昆虫の内部構造の可視化について	畑中 恒夫	369
● 睡眠パターンと学業成績や心身状態は関連するか —夜間睡眠の質と量, 日中の眠気と短時間睡眠の活用—	長根 光男	375
● リスク教育導入のための放射線実験プログラム作製	山本 菜月・杉田 克生・加藤 徹也・三門 正吾 高橋 博代・野村 純・喜多 和子	381

IV. 芸術系

● 幼児期の造形体験が中学生に及ぼす影響Ⅲ —豊かな体験が育てるもの—	楨 英子・小橋 暁子	393
--	------------	-----

研究活動状況